

育心拓夢

愛媛県総合教育センター所報 No.167
(令和4年5月31日発行)
<https://center.esnet.ed.jp>
〒791-1136 愛媛県松山市上野町甲650番地
TEL 089-963-3111(代) FAX 089-963-3146

- 所長挨拶(「令和の日本型学校教育」と「心を育む」) …… 1
- 総合教育センターの紹介 …… 1
- 研修事業・オンライン研修について …… 2
- 「出前講座」で教員研修をお手伝いします! …… 2
- 若手教員への「愛」ある支援プロジェクト …… 2

- 「えひめ教師塾」-^{えがお}愛顔あふれる愛媛の教師- …… 3
- 調査・研究発表会のお知らせ …… 3
- センターのホームページお薦め情報 …… 3
- 教育相談の御案内 -子どもの発達や教育に関する相談・支援- …… 4



「令和の日本型学校教育」と「心を育む」

所長 沖田 浩史

令和3年1月の中央教育審議会答申では、2020年代を通じて実現すべき学校教育の姿として、「令和の日本型学校教育」が示されました。子どもたちの知・徳・体を一体で育む「日本型学校教育」は、諸外国から評価されており、答申では、社会の在り方が大きく変わり予測困難な「令和」の時代の学校教育に必要なことは、「日本型学校教育」のよさを受け継ぎ、更に発展させていくことだとしています。

この2年、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受ける中、学校現場では、1人1台端末の整備とその活用を通して、学びの保障に取り組んでこられました。また、新しい学習指導要領の下、主体的・対話的で深い学びを取り入れ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」とを両輪に、子どもたちの学力向上に尽力していただいているところです。

「知・徳・体を一体で育む」日本型学校教育を継承するという点では、学力向上に加え、「心」を育むことの大切さを忘れてはいけません。道徳教育や人権・同和教育をはじめ、あらゆる教育活動の中で、「人を思いやる心」や「共感する心」を育み、異なる意見を持つ人を排除するのではなく、多くの人が納得できる、いわゆる「納得解」を導き出す力を身に付けることが、先行き不透明な時代を生きる子どもたちにとって必要になっています。

総合教育センターには、この所報のタイトルにもなっている「育心拓夢」という言葉が書かれた石碑があります。本年度も、本センターでは、教育の今日的課題を解決することをテーマに、多くの研修や研究を実施する中で、常に、愛媛の子どもたちの「心を育む」ことを念頭に置いて、取り組んでまいります。

「心を育む」ことは、私たち大人にも大切で、教職員が、豊かな人間性や創造力を持つことは、子どもたちの学びに、よい効果を与えるものと考えます。令和の時代に生きる子どもたちが「心を育て夢を拓く」ことができるよう、共に力を合わせて頑張りましょう。



総合教育センターの紹介

本センターの前身は、昭和23年に設置された愛媛県教育研究所で、昭和57年の移転と統合を機に、愛媛県総合教育センターと改称されました。

「愛顔(えがお)あふれる愛媛県」の実現に向け、本センターは、教職員の資質・能力の向上と子どもたちの生きる力を育む学校づくりのため、関係機関と連携しながら、学校支援・研修・研究・相談の四つの事業を柱として、学校教育を総合的に支援しています。

学校支援事業では、担当所員が学校や市町教育委員会が開催する研修会に出向いて講師を務める出前講座を実施しているほか、各種の教育情報を提供しています。研修事業では、初任者研修等の基礎研修をはじめ、

様々なニーズに応える専門研修や課題別研修等を、オンラインやライブ形式を取り入れながら実施しています。また、ICTに係る動画など、校内研修等で役立つ動画をホームページに公開しています。研究事業では、テーマに基づいた研究成果を発表する調査・研究発表会を2月に開催し、毎年、多くの教育関係の皆様に参加いただいています。相談事業では、子育てや支援の必要な子ども、不登校、いじめなどに関する教育相談を行っています。

本年度も学び続ける教職員を支援するため、学校現場に寄り添った事業を展開していきます。

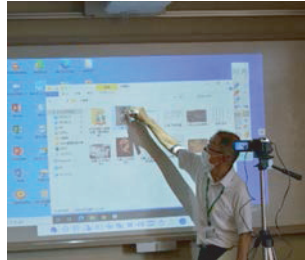


研修事業・オンライン研修について

【令和4年度研修事業について】

基礎研修は、初任者研修・新規採用教員研修、中堅教諭等資質向上研修といった、経験年数や年齢に応じた実施する、法で定められた研修です。基礎的資質や知識・技能の習得、実践的指導力の向上を図ります。

専門研修は、10講座を開設し、学校経営や理科等の、受講者の特定分野における専門性や実践的指導力の向上を図る研修です。

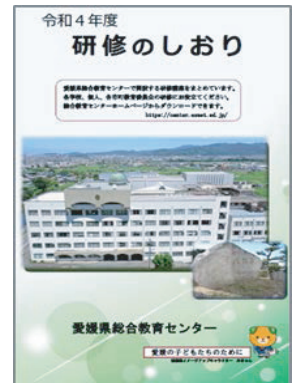


課題別研修は、多くの教育課題への対応と様々な職務実践力の向上を図るための研修で、本年度は70講座を開設しています。目的や必要性などに応じて、希望する講座に申し込んで受講することができます。

本年度の課題別研修では、**13講座をオンラインのみで、21講座をオンラインと集合を組み合わせる形態**で実施します。また、新規に「【社会、地歴・公民】地理的な見方・考え方を踏まえた授業づくりの基礎」「【情報】パワーポイント等を活用したマルチメディア教材作成」など、7講座を開設します。

各講座の詳細い内容については「**研修のしおり**」を御覧ください。本センターホームページからダウンロードすることができます。

本センターは本年度も、教員研修の一層の充実に努めていきます。



「出前講座」で教員研修をお手伝いします！

出前講座は、学校や教科等研究委員会等の要請に応じて、本センター所員が対面やオンラインで、校内研修や教科等研究委員会、市町教育委員会が主催する研修会の支援を行うものです。

学校現場のニーズや喫緊の課題に対応できるよう、「児童生徒を生かし伸ばす生徒指導の在り方」等、7講座を新設しました。各講座の内容や対象をまとめた概要は、ホームページに公開している「研修のしおり」をぜひ御覧ください。



教科研修会や校内研修等の充実のためにも、御活用ください。お問い合わせは企画開発室まで
TEL 089-909-7420

〈令和3年度受講者の感想〉

授業づくりにおける視点、学習課題の設定や振り返り等、日々の授業改善のヒントを得ることができた。

申込みは簡単！

本センターホームページから「出前講座申込書」をダウンロードし、必要事項を入力して、電子メールでお申し込みください。

詳細はこちら

https://center.esnet.ed.jp/shien_top

若手教員への「愛」ある支援プロジェクト

このプロジェクトは、若手教員（経験年数おおむね5年未満）に対して、資質・能力の向上を目指した支援（研修事業）と、不安や悩みの解消と課題の解決に向けた支援（相談事業）を行い、教養を高めながら、**愛顔**で教育活動に携われることを目的としています。

研修事業では、基礎研修を中心に若手教員の実態に応じた研修内容を充実させたり、研修時に気軽に交流できるような場を提供したりします。また、メンタル

ヘルスケアについての研修も行うなど、研修内容の充実を図り、教職員厚生室等による相談事業について紹介することとしています。

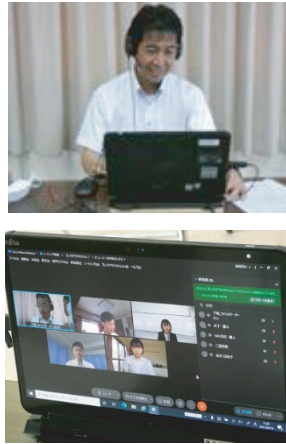
相談事業では、電話や来所による相談を気軽に行えるようリーフレットを配付するとともに、出前講座の終了後に、個別相談の時間を設けます。また、学校訪問による支援も、要望に応じて行います。

若手教員の支援に、本センターを御活用ください。

「えひめ教師塾」 — えがお 愛顔あふれる愛媛の教師 —

えひめ教師塾は、若手の教員や教員志望の学生を対象に、休日を利用して行っている研修講座です。自主的な研修を行うことを通して、教職に対する情熱や使命感を高めるとともに、教師としての実践的指導力の向上を図ることを目的としています。

令和3年度は、ウェブ会議システムを使用したライブ配信やオンデマンド動画の配信で講座を行い、教員と学生を合わせて207名に参加いただきました。受講者からは、「自身の教職についての考えを深めることのできる一日となった」「内容が濃く、充実した時間で



あった」などの感想がありました。

令和4年度は、オンライン講座のほかに、愛媛大学や本センターを会場とする集合型の講座を実施します。講座の詳細と申込方法は、各学校に送付している資料又は本センターのホームページを御覧ください。

なお、開催日ごとに申込みの締切日を設定していますので、御都合に合わせてお申し込みください。

【内容】

- 教員採用試験説明会
 - 愛媛の教職論—教員の働き方改革 ver.2.0—
 - 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくり
 - タブレット端末を活用した授業改善の在り方
 - これだけはおさえたい教育相談のポイント
 - 特別な教育的ニーズのある子どもの理解と支援
- など、計7回開催

調査・研究発表会のお知らせ

本センターにおける調査・研究の成果を広く公開し、本県学校教育の振興と充実を図ることを目的とした発表会です。

本年度の発表会は次のとおり計画しています。

- 1 期日 **令和5年2月10日（金）**
- 2 研究主題
「未来を創造する力を育む学校教育への総合的な支援」



昨年度の発表の様子

- 3 センター各室による研究発表
- 4 長期研修生・短期研修生の研究発表
- 5 講演 **直山 木綿子 先生**



・文部科学省初等中等教育局視学官
「指導と評価の一体化」「個別最適な学び」「協働的な学習」「言語活動の充実」「デジタル教科書」をキーワードにして、「令和の日本型学校教育」の目的について御教示いただきます。

詳細は12月上旬頃にお知らせする予定です。

センターのホームページお薦め情報

本センターホームページでは、学校の教育活動支援、子どもに関する相談・支援事業、そして研修や各種事業に関する情報の提供を行っています。



ホームページURL
<https://center.esnet.ed.jp>

研究情報のページでは、今までの調査・研究の取組をまとめた研究紀要を、閲覧することができます。ぜひ、御覧いただき、御意見をお寄せください。

また、教員研修の支援として、ICT活用スキルに関する動画等を用意しています。参考にしてください。

えひめICT未来創造プランが示す
新たな時代のICT活用スキル（教員編）研修用資料

情報モラル—学校における著作権— [動画資料](#)

iPadで教材用動画を作ろう [動画資料](#)

パワーポイントを活用した動画編集 [動画資料](#)

教育相談の御案内

—子どもの発達や教育に関する相談・支援—

本センターでは、子どもとその保護者及び教職員を対象に、子どもの発達や教育に関する相談・支援を行っています。相談に関する秘密は、固く守ります。お気軽に御相談ください。

教育相談

不登校・いじめなど

089-963-3986

直通電話



幼児の教育相談

幼児の発達や子育て

089-963-3113

内線番号 118



特別な教育的 支援が必要な 子どもの相談

発達や教育・養育

089-963-3113

内線番号 207、208、209
のいずれか



受付時間：月～金曜日 8：30～17：15（祝祭日、年末年始を除く。） 相談は、無料です。

<不登校療育事業>

本事業では、不登校児童生徒とその保護者を対象に、子どもの自立と集団生活への適応のための支援を行っています。

1 適応指導教室（こまどり教室）

不登校の児童生徒を対象に5月初旬から翌年3月初旬まで開級しています。主な内容は次のとおりです。

- 定員 小・中・高等学校・中等教育学校の児童生徒 計18名
 - 日時 毎週 月・火・木・金 9：30～14：30
 - 活動内容 体験活動、学習活動、スポーツ活動等
- ※入級については教育相談室まで御相談ください。

2 保護者学級

不登校児童生徒の保護者及び学校教職員を対象に、年間6回開催します。本センター所員や学識経験者等を講師とした学習会、参加者同士の支え合いの場となる座談会等を予定しています。

<自閉症療育事業>

本事業では、自閉症やアスペルガー症候群、その他の広汎性発達障がい等の児童生徒を対象に、学校や家庭における生活が、より望ましく生き生きとしたものとなるよう、支援を行っています。

1 親子療育教室

30組の親子を対象に、本センターで年間7回実施します。主な内容は次のとおりです。

- 集団又は個別での遊びや制作活動、運動等
- 保護者との個別相談
- 外部講師による講話、保護者同士の情報交換

2 地域別親子教室

10月に県内の五つの会場で、集団での遊びや制作活動、保護者同士の情報交換を行います。併せて児童生徒の特性や支援方法について、関係教員からの相談に応じます。

所報「育心拓夢（いくしんたくむ）」について

この言葉は、本センターが現在の地に移転した昭和57年頃、当時の所員が作った言葉で、敷地内にある石碑に刻まれています。「総合教育センターでは、子どもたちが確かな学力を身に付け、豊かな『心を育む』こと、また、自らの力で未来への『夢を拓く』ことができるように学校支援を行う」という強い思いが込められています。

※新型コロナウイルス感染症の状況により、研修が変更又は中止になる場合は、本センターのホームページでお知らせします。